

# 第8回神奈川県特定施設研究大会実施報告

去る2月6日(金)に「第8回神奈川県特定施設研究大会」を開催致しました。今回は、午前中に基調講演として、医療法人財団 百葉の会 介護老人保健施設「星のしずく」看介護部長で「介護アドバイザー」、「人気研修講師」の高口光子さまをお招きし、「チームで働くということ」をテーマとしてお話しいただきました。また、午後からは、8演題の研究発表を行いました。当日は、介護関係の施設や事業所にお勤めの方や、出展企業の方など260名の方にご参加いただき、大いに盛り上がりました。

【日時】平成27年2月6日(金)10:20 ~16:20

【場所】横浜市開港記念会館 講堂 【参加者】約260名 【協賛企業】24社

## ◆開会式

主催者あいさつ：公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 理事長 瀬戸恒彦



来賓あいさつ：神奈川県議会厚生常任委員会 委員長 小野寺慎一郎氏



◆基調講演：医療法人財団 百葉の会「星のしずく」看介護部長 高口光子氏



- ・介護アドバイザーとは、落ちるところまで落ちた施設を何とかする仕事。落ちた施設とは「申し送りをしない」「上司の悪口ばかりする」「入居者のものがなくなる」「無駄話ばかりしている」そういった施設の事。
- ・「今を支えられないなら、来るか来ないかの明日を支えられない」だからこそ「強い介護職になる」
- ・ケアの現場でチームとして働くということは、たった一人のお年寄りにめぐりあって「食べてもらいたいな」、「もっと笑ってもらいたい」、とすることからはじまる。そして思ったら「言葉にだす」、そうすると聞いてくれる人が出てくる。共感する人が出てくる。「やってみなければわからないよ」、「やってみようよ」というふうになってくる。そうやって、ゆるぎない日常を作り上げる。
- ・自分自身の意思として特定施設を選んだ皆さんは、是非こうしたことに向き合ってほしい。

(研究発表:口頭)

	所属	演題名
1	株式会社東急イーライフデザイン グランクレール藤が丘	「永遠に美しく」思い出して素敵な私 ～ひとりからチーム全体への取り組みへ～
2	工藤建設株式会社 フローレンスケア宿河原	これまで歩んできた人生に目を向けて ～ご入居者一人ひとりの心地よさとは～
3	東京海上日動サミュエル株式会社 ヒュッテ荏田南	ご入居者の豊かさとは ～アクティビティを通して考える～
4	一般財団法人シニアライフ振興財団 ヴィンテージ・ヴィラ向ヶ丘遊園	みんなで楽しく介護予防
5	大和ハウスライフサポート株式会社 ネオ・サミット茅ヶ崎ケアレジデンス	アロマセラピーによるBPSD軽減の取り組み
6	一般財団法人シニアライフ振興財団 ヴィンテージ・ヴィラ横浜	要介護予防群や見守り介護者への居場所作り ～つづく・つながる楽しい空間～
7	日総ニフティ株式会社 すいとぴー新横浜	豊かな暮らしを支えるチームケア ～豊かな暮らしとは何ですか～
8	株式会社あおいけあ 小規模多機能型居宅介護おたがいさん	HAPPY HAPPY HAPPY 支える力が作り 出すパワー

◆研究発表：座長 神奈川県立保健福祉大学名誉教授 谷口政隆氏



今回8回目ですが、年々研究内容が進化してきている。特に、ご入居者その人が培ってきた生活文化や生活様式を大事にして、その人の生活を支えようという動きになっている。その中でもよい点は、3点

- ①個別対応をするようになっていく
- ②感受性の鋭さがそういった個別のサービス提供につながっている  
(表情の変化を見逃さないなど、言語的なもの以外の感受性が重要)
- ③スケールを使って、定量化した研究が出来てきている

相手を変えようとする試みがあったが、自分たちを変えるように意識がシフトしてきた。ご入居者の今後を予知した介護が出来るようになってくる気がする。発表にならなかった演題も大変すばらしいものだったので、抄録の掲載部分を見て欲しい。

(研究発表:紙上)

1	一般財団法人シニアライフ振興財団 ヴィンテージ・ヴィラ相模原	ヒヤリハットへの取り組み ～職員全員の意識改革へ繋げる～
2	大和ハウスライフサポート株式会社 もみの樹・横濱鶴見	〇様が教えてくれたアセスメントの大切さ
3	一般財団法人シニアライフ振興財団 運営支援本部サービスサポート課	常識を疑え！！厚生労働省の提唱する「週2回以上の適切な運動で身体機能は維持・向上可能」は本当か？ ～「ミニ体力測定」を通じての検証～
4	一般財団法人シニアライフ振興財団 トレクォーレ横浜若葉台	退屈な時間の解消に向けて ～読み・書き・計算のレクリエーションに取り組んで～
5	日総ニフティ株式会社 すいとぴー金沢八景	皆は1人のために一人は皆のために
6	日総ニフティ株式会社 すいとぴー三ツ境	豊かな暮らしを支えるチームケア 「もっと、私を見て！本当の私を」
7	日総ニフティ株式会社 すいとぴー本牧三溪園	～豊かに生きる力を引き出したチームケア～
8	一般財団法人シニアライフ振興財団 ヴィンテージ・ヴィラ横須賀	「私達」にも出来た！要望を超えたケア ～「美」を通じて得た、たくさんのもので～

**【最優秀賞】(株式会社東急イーライフデザイン/グランクレール藤が丘様)**



- ・肌が汚れている入居者が多いことに驚いた。→本来の自分を取り戻してほしい！！
  - ・自分の前職の経験を活かしてフェイスマッサージを始めたが、当初は女性職員だけだったが、男性職員も一緒に取り組むようになった。フェイスマッサージは、ゆっくりやっても3分もかからない。マッサージされることで、他人への思いやりや積極性がどんどん出てくるがあった。
- ⇒いくつか課題はあるが、1人1人の生活を支援し、『永遠に美しく』生涯を送る為の援助を目指したい。

**【優秀賞】(工藤建設株式会社/フローレンスケア宿河原様)**



- ・入居者皆さんと一緒にいる機会が多い施設なので、不穏状況が高まった入居者への対応は、周りの方からの苦情に配慮して他の入居者から遠ざけてしまっていた。そこで、①情報シートの作成、②行動分析の開始(30分間隔で4か月間記録。2週間ごとに集計し、スタッフ間で行動分析を行った)
  - ・その人のことをとにかく掘り下げた。センター方式などを参考に施設オリジナルの個別ケアを作成した。
- ⇒その人に正面から向き合うことで、「認知症だから」では済さないで、一人一人の心の声に向き合う。

◆協賛企業様プレゼンテーション：信興テクノミスト様、デンタルサポート様、日清医療食品様、パナソニックエイジフリーショップ様、パナックアドバンス様、ピップ様、富士ソフト様（発表順）



各協賛企業様が自社と自社商品の PR を短い時間でたいへんわかりやすく説明していただきました。誠にありがとうございます。

◆表彰式 公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 理事長 瀬戸恒彦  
【最優秀賞】(株式会社東急イーライフデザイン/グランクレール藤が丘様)



## ◆閉会式

神奈川県特定施設研究大会 実行委員長 藤井研児



第8回を迎え、今回から、かながわ福祉サービス振興会と神奈川県特定施設等連絡協議会の共催になりました。協賛企業様、また、多くの関係者の皆様のおかげで開催に至ることができました。なにぶん手作りなので、多々至らぬところがあったと思います。来年度は是非、新規法人様にもこの研究大会に参画してもらいたいと思います。

高口さんのお話は、我々の仕事の手本にしたい内容でありました。また、優勝した東急イーライフデザイン様本当におめでとうございます。

本年度は、審査を座長の谷口先生のほかに、神奈川県、横浜市、川崎市の担当部局の課長様、振興会の常務理事にお願いし、時間をかけて公明正大な審査をして頂いたこと、心よりお礼申し上げます。

介護報酬単価が変わり、厳しい局面になると思いますが、特定施設の一部が評価されることにもなり、要介護3以上の対応にますます特定施設の出番が出てきたと感じます。役割が重くなりますが、そこはプラスに考え、我々特定施設事業者は、さらなるケアサービス向上に寄与してまいりたいと思います。

我々の仕事の一つとして、研究大会を通じて、報酬引き下げや業務の大変さばかりの話ではなく、普段現場での仕事の中で些細ではあるが、ちょっとしたよいエピソードや、時にはドラマティックな事もありますので、こういう場で共有して、素晴らしい仕事であることを社会に理解して頂きたいと思っています。来年もまたこの場所でお会いしましょう！本日は誠にありがとうございました。



最後に、今大会の開催にあたりましては、神奈川県特定施設等連絡協議会参加法人の職員の皆様には、司会から受付、舞台運営など多大なるご協力をいただきました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。  
神奈川県特定施設等連絡協議会  
事務局 内藤 裕滋